

# 世帯規模の縮小化続く

～平成25年 住民基本台帳に基づく日本人人口～

今号の特集では、福岡市における平成25年9月末現在の住民基本台帳に基づく日本人の人口及び平成25年の人口動態の状況をご紹介します。「住民基本台帳に基づく人口」とは、福岡市に住民登録をしている人を集計したものです。

1世帯あたり人員は2.05人で、前年比0.01人の減少となりました。人口・世帯数ともに増加傾向にありますが、世帯数の伸びが人口の伸びを上回っているため、1世帯あたり人員は減少が続き、世帯規模の縮小化が続いています。(表1、図1)

## 1. 住民基本台帳に基づく人口

### (1) 概要

1世帯あたり世帯人員2.05人

#### 世帯規模の縮小化続く

住民基本台帳に基づく平成25年9月末現在の福岡市の人口は1,444,783人で前年(平成24年9月末現在)に比べ12,251人増加し、増加率は0.9%となっています。世帯数は705,454世帯で、前年に比べ10,942世帯増加し、増加率は1.6%となりました。

性別に見ると、男性は684,982人で、前年と比べて5,449人増加し(対前年増加率0.8%)、女性は759,801人となり、前年と比べて6,802人の増加(同0.9%)となっています。女性を100としたときの男性の割合を示す「性比」は90.2で、前年同比となりました。

## (2) 行政区別人口

### 全区で世帯規模は縮小化

行政区別に見ると、人口は城南区以外の区で増加、世帯数は全ての区で増加しています。人口は東区の286,578人が最も多く、次いで南区、早良区の順になっています。世帯数は、

図1 人口及び1世帯あたり人員の推移

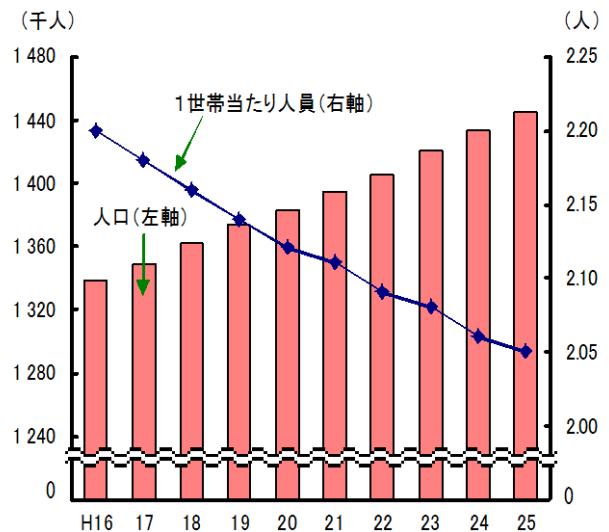


表1 世帯数, 人口等の推移

年	世帯数	人口			性比	1世帯当 たり人員	対前年増減			
		世帯 人	男 人	女 人			世帯数		人口	
							世帯 %	率	人	率
平成16年	608 510	1 337 576	639 168	698 408	91.5	2.20	9 556	1.6	10 477	0.8
17年	618 034	1 347 823	642 842	704 981	91.2	2.18	9 524	1.6	10 247	0.8
18年	630 866	1 361 060	648 387	712 673	91.0	2.16	12 832	2.1	13 237	1.0
19年	642 514	1 372 840	652 935	719 905	90.7	2.14	11 648	1.8	11 780	0.9
20年	652 282	1 382 563	656 798	725 765	90.5	2.12	9 768	1.5	9 723	0.7
21年	662 040	1 394 017	662 176	731 841	90.5	2.11	9 758	1.5	11 454	0.8
22年	671 525	1 404 525	667 402	737 123	90.5	2.09	9 485	1.4	10 508	0.8
23年	683 885	1 419 311	674 197	745 114	90.5	2.08	12 360	1.8	14 786	1.1
24年	694 512	1 432 532	679 533	752 999	90.2	2.06	10 627	1.6	13 221	0.9
平成25年	705 454	1 444 783	684 982	759 801	90.2	2.05	10 942	1.6	12 251	0.9

各年9月末現在

東区の133,304世帯が最も多く、以下、南区、博多区と続いており、人口、世帯数ともに最も少ないのは城南区となっています。

人口増加数は、博多区の2,712人が最も多く、以下、西区の2,649人、中央区の2,524人となっています。

世帯増加数も、博多区が2,525世帯と最も多く、西区が1,922世帯で続いています。

性比を見ると、博多区が94.8と最も高く、次いで東区の94.7で、他の区と比べて男性の割合が多くなっています。最も低い中央区(79.1)、続く南区(88.7)は他の区と比べて女性の割合が多いことが分かります。

1世帯当たり人員を見ると、最も多いのは西区の2.31人で、以下、早良区、東区の順になっており、都心部に位置する中央区(1.74人)と博多区(1.75人)は、福岡市全体の2.05人を下回っています。全ての区にお

いて世帯数の伸び率が人口の伸び率を上回っており、世帯規模の縮小化は全区的なものとなっています。(表2)

### (3) 年齢別人口

#### 生産年齢人口割合の低下が続く

年齢区分別の構成比を見ると、福岡市全体の15歳未満の「年少人口」の割合は13.9%となり、前年と比べ0.1ポイント低下しました。15～64歳の「生産年齢人口」の割合は67.0%で、前年と比べ0.7ポイント低下し、65歳以上の「老年人口」の割合は19.0%で、前年と比べて0.7ポイント上昇しました。割合の推移を見ると、年少人口の割合は横ばい状態になっており、生産年齢人口の割合は低下、老年人口の割合は上昇を続けています。

行政区別に見ると、年少人口の割合が福岡市全体の割合(13.9%)より高いのは、西区、

表2 行政区別世帯数及び人口

各年9月末現在

区	平成24年		平成25年				対前年増減					
	世帯数	人口	世帯数	人口	男	女	性比	1世帯当たり人員	世帯数	率	人口	率
	世帯	人	世帯	人	人	人		人	世帯	%	人	%
福岡市	694 512	1 432 532	705 454	1 444 783	684 982	759 801	90.2	2.05	10 942	1.6	12 251	0.9
東区	131 434	284 623	133 304	286 578	139 358	147 220	94.7	2.15	1 870	1.4	1 955	0.7
博多区	114 933	202 822	117 458	205 534	100 028	105 506	94.8	1.75	2 525	2.2	2 712	1.3
中央区	97 710	170 474	99 595	172 998	76 403	96 595	79.1	1.74	1 885	1.9	2 524	1.5
南区	115 892	246 869	117 495	248 830	116 961	131 869	88.7	2.12	1 603	1.4	1 961	0.8
城南区	57 198	121 615	57 623	121 588	57 654	63 934	90.2	2.11	425	0.7	△ 27	△ 0.0
早良区	94 223	211 928	94 935	212 405	100 630	111 775	90.0	2.24	712	0.8	477	0.2
西区	83 122	194 201	85 044	196 850	93 948	102 902	91.3	2.31	1 922	2.3	2 649	1.4

表3 行政区別年齢3区分別人口

各年9月末現在

	人口総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	年齢別割合					老年化指数
					うち75歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	うち75歳以上	
	人	人	人	人	人	%	%	%	%	
平成21年	1 394 017	195 287	958 622	240 108	109 896	14.0	68.8	17.2	7.9	123.0
22年	1 404 525	196 457	962 620	245 448	114 703	14.0	68.5	17.5	8.2	124.9
23年	1 419 311	198 694	970 383	250 234	119 746	14.0	68.4	17.6	8.4	125.9
24年	1 432 532	200 197	969 907	262 428	124 749	14.0	67.7	18.3	8.7	131.1
平成25年	1 444 783	201 272	968 414	275 097	128 735	13.9	67.0	19.0	8.9	136.7
東区	286 578	42 627	189 153	54 798	25 319	14.9	66.0	19.1	8.8	128.6
博多区	205 534	24 130	146 327	35 077	16 227	11.7	71.2	17.1	7.9	145.4
中央区	172 998	19 361	124 357	29 280	13 962	11.2	71.9	16.9	8.1	151.2
南区	248 830	34 884	164 259	49 687	23 584	14.0	66.0	20.0	9.5	142.4
城南区	121 588	16 758	79 653	25 177	11 898	13.8	65.5	20.7	9.8	150.2
早良区	212 405	32 366	138 164	41 875	19 323	15.2	65.0	19.7	9.1	129.4
西区	196 850	31 146	126 501	39 203	18 422	15.8	64.3	19.9	9.4	125.9

早良区、東区及び南区で、生産年齢人口の割合が福岡市全体の割合(67.0%)より高いのは中央区と博多区、老年人口の割合が福岡市全体の割合(19.0%)より高いのは、城南区、南区、西区、早良区及び東区となっています。

年少人口に対する老年人口の割合を示す「老年化指数」は、中央区、城南区、博多区、及び南区で、福岡市全体の指数(136.7)を上回りました。(表3)

#### (4) 世帯員数別世帯数

博多区、中央区 約6割が1人世帯

世帯員数別世帯数の構成比を見ると、1人世帯が46.7%で前年比0.5ポイントの増加、2人世帯は前年と同じ23.1%となりました。3人世帯は14.6%で前年比0.2ポイントの減少、4人以上の世帯は15.6%で前年比0.4ポイントの減少となりました。

行政区別に見ると、全ての区で1人世帯の割合が最も高くなっており、特に博多区と中央区は、約6割が1人世帯となっています。

(表4、図2)

#### (5) 小学校区別人口

人口増加数 塩原校区が最も多い

小学校通学区域別に見ると、人口が最も多いのは平尾校区(中央区)の21,780人で、以下、博多区の博多校区、那珂校区と続いています。

人口が最も少ないのは曲渕校区(早良区)の176人で、次いで西区の小呂校区、東区の勝馬校区となっています。

前年と比べた人口増加数は、南区の塩原校区(1,243人増)が最も多く、以下、西区の玄洋校区(875人増)、博多区的那珂校区(839人増)となり、人口増加率は、塩原校区(10.8%)、東区の千早校区(8.1%)、玄洋校区(7.1%)の順になっています。一方、人口減少数は、城南区の長尾校区(163人減)、早良区の百道校区(146人減)、四箇田校区(142人減)の順に多くなっています。(表5)

図2 世帯員数別世帯数の割合

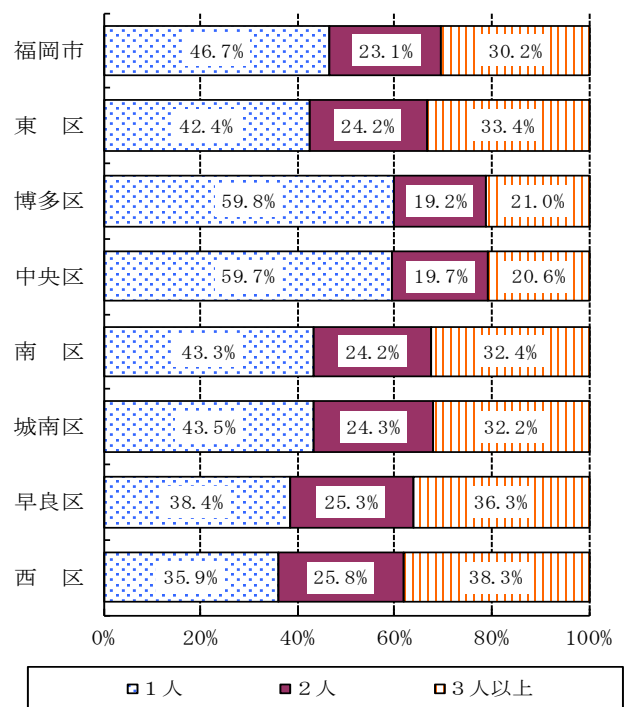


表4 行政区別世帯員数別世帯数

	各年9月末現在											
	総数	世帯数				構成比						
		1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上			
平成21年	662 040	296 322	152 100	101 073	112 545	44.8	23.0	15.3	17.0			
22年	671 525	303 284	154 533	101 752	111 956	45.2	23.0	15.2	16.7			
23年	683 885	312 138	157 685	102 681	111 381	45.6	23.1	15.0	16.3			
24年	694 512	320 661	160 267	102 725	110 859	46.2	23.1	14.8	16.0			
平成25年	705 454	329 123	162 981	103 214	110 136	46.7	23.1	14.6	15.6			
東区	133 304	56 490	32 297	21 040	23 477	42.4	24.2	15.8	17.6			
博多区	117 458	70 235	22 583	12 778	11 862	59.8	19.2	10.9	10.1			
中央区	99 595	59 435	19 635	11 007	9 518	59.7	19.7	11.1	9.6			
南区	117 495	50 878	28 490	18 413	19 714	43.3	24.2	15.7	16.8			
城南区	57 623	25 066	13 995	8 923	9 639	43.5	24.3	15.5	16.7			
早良区	94 935	36 456	24 054	16 247	18 178	38.4	25.3	17.1	19.1			
西区	85 044	30 563	21 927	14 806	17 748	35.9	25.8	17.4	20.9			

表5 小学校区別世帯数及び人口

平成25年9月末現在

区・小学校区名	世帯数	人口	区・小学校区名	世帯数	人口	区・小学校区名	世帯数	人口
<b>福岡市合計</b>	<b>705 454</b>	<b>1 444 783</b>	草ヶ江	7 913	14 954	原北	3 171	7 832
<b>東区</b>	<b>133 304</b>	<b>286 578</b>	平尾	12 078	21 780	飯倉	4 526	9 861
馬出	6 342	10 349	高宮	8 007	11 958	賀茂	4 747	10 167
筥松	7 513	13 503	赤坂	6 271	11 124	有田	4 683	10 824
箱崎	7 695	13 450	南当仁	8 825	16 624	野芥	5 113	11 488
香椎	5 202	10 630	笹丘	5 775	11 974	大原	4 052	8 449
多々良	6 590	13 718	舞鶴	4 712	7 229	四箇田	3 474	7 999
名島	6 688	15 364	小笹	6 326	14 671	飯原	2 926	6 851
香住丘	8 528	17 466	福浜	2 736	5 348	有住	2 485	4 807
和白	4 975	11 273	鳥飼 *	350	726	田村	4 258	9 908
千早	4 429	10 041	<b>南区</b>	<b>117 495</b>	<b>248 830</b>	飯倉中央	2 325	5 287
城浜	2 252	3 723	三宅	8 117	16 244	小田部	3 572	9 366
若宮	4 558	9 853	花畑	3 993	9 295	百道浜	3 262	8 226
勝馬	108	265	玉川	8 708	15 517	脇山	1 048	2 509
志賀島	743	1 627	西高宮	8 199	17 342	内野	2 795	6 617
西戸崎	2 716	6 075	日佐	2 897	6 812	曲渕	79	176
美和台	6 661	15 694	宮竹 *	6 377	12 306	入部	3 217	7 773
八田	3 109	7 263	大楠	6 649	10 054	早良	1 575	3 756
和白東	5 399	12 108	若久	5 108	11 235	<b>西区</b>	<b>85 044</b>	<b>196 850</b>
舞松原	4 212	10 041	老司	3 731	8 585	姪浜	6 562	14 414
香椎東	5 766	13 754	長住	3 664	8 444	壱岐	6 472	16 394
青葉	4 699	12 315	筑紫丘	4 120	8 677	能古	340	736
奈多	4 032	9 197	西花畑	5 118	12 014	内浜	7 103	14 400
香椎浜	2 450	5 320	弥永	3 156	6 589	金武	2 050	5 948
香椎下原	6 405	13 308	東花畑	4 147	9 211	下山門	4 014	9 451
千早西	3 048	6 835	長丘	4 251	10 686	壱岐南	4 292	10 408
東箱崎	3 458	7 090	西長住 *	1 740	3 826	西陵	2 613	5 394
香陵	1 732	4 482	弥永西	3 606	8 330	壱岐東	2 202	4 517
松島	8 464	17 340	東若久	3 361	7 621	石丸	4 781	11 397
三苦	3 807	9 278	鶴田	3 040	7 309	愛宕	5 808	12 550
照葉	1 723	5 216	野多目	4 797	11 620	福重	3 667	8 114
<b>博多区</b>	<b>117 458</b>	<b>205 534</b>	高木	4 519	8 471	城原	3 322	7 816
博多	13 816	20 132	大池	3 798	8 462	愛宕浜	2 596	7 123
住吉	12 198	18 250	塩原	6 866	12 717	姪北	5 077	10 045
堅粕	7 095	9 988	柏原	3 757	9 508	今宿	5 429	12 871
千代	6 872	9 767	横手	3 776	7 955	今津	1 407	3 052
吉塚	5 632	9 948	<b>城南区</b>	<b>57 623</b>	<b>121 588</b>	周船寺	5 956	14 177
東住吉	6 568	8 825	西長住 *	842	1 986	元岡	4 654	11 630
席田	2 997	6 451	長尾	5 980	12 707	北崎	907	2 552
月隈	4 092	8 684	鳥飼 *	4 339	9 662	玄界	229	530
春住	5 939	9 420	別府	7 967	16 065	小呂	70	210
板付	7 090	14 909	七隈	6 376	12 823	玄洋	5 493	13 121
那珂	9 856	19 642	堤	4 429	10 149	<b>複数区にまたがる小学校区の合算</b>		
那珂南	7 122	13 038	城南	6 479	14 123	宮竹【合算】	8 088	16 157
東光	4 967	7 948	金山	3 855	7 250	西長住【合算】	2 582	5 812
東吉塚	5 994	10 923	片江	5 847	11 712	鳥飼【合算】	4 689	10 388
板付北	3 382	7 266	南片江	3 879	8 848			
東月隈	3 615	8 275	田島	4 798	10 468			
三筑	5 875	12 237	堤丘	2 832	5 795			
弥生	2 637	5 980	<b>早良区</b>	<b>94 935</b>	<b>212 405</b>			
宮竹 *	1 711	3 851	西新	7 928	16 061			
<b>中央区</b>	<b>99 595</b>	<b>172 998</b>	原	4 729	10 648			
大名	3 344	4 586	高取	7 949	16 098			
当仁	7 959	14 606	百道	3 363	7 537			
箕子	5 624	8 445	田隈	3 575	7 700			
警固	10 481	17 027	室見	5 107	11 298			
春吉	9 194	11 946	原西	4 976	11 167			

※ 本表及び次ページ以降の統計表は、福岡市教育委員会が公表している「市立小中学校の通学区域」に基づいて、住民基本台帳に登録された人の住所地を各小学校区に振り分け、集計したものです。

※ 小学校名欄に「\*」印を付した学校は、校区が複数行政区にまたがっているため、小学校区単位の数値は本表末尾に合算した値を示しています。

## 2. 人口動態

### (1) 自然動態

#### 自然増加数 増加に転じる

平成25年(1~12月)の自然動態(出生と死亡の数)は、出生数14,731人、出生率(人口1,000人当たりの出生数)は10.20‰(パーミル)、死亡数は10,854人、死亡率(同死亡数)は7.51‰で、自然増加数は両者の差の3,877人、自然増加率(同自然増加数)は、2.68‰となりました。

平成24年と比較すると、出生数は前年と比べ252人増加(前年比1.7%増)、死亡数も前年と比べて151人増加(前年比1.4%増)しました。自然増加数は、平成22年以降減少

を続けていましたが、前年比101人の増加(前年比2.7%増)に転じました。

行政区別に見ると、出生率は博多区の11.22‰が最も高く、次いで西区、東区の順になっています。死亡率は南区の7.88‰が最も高く、以下、城南区、東区が続いています。自然増加率が最も高いのは、博多区の3.82‰で、最も低いのは城南区の1.77‰でした。

(表6, 表7, 図3)

### (2) 社会動態(市外移動)

#### 全ての区で転入超過

平成25年の社会動態(市外との転出入の

表6 出生・死亡・自然増加数の推移

	出生数	死亡数	自然増加	
			実数	率
	人	人	人	‰
H16	12 978	8 510	4 468	3.34
17	12 542	8 762	3 780	2.80
18	13 255	8 915	4 340	3.19
19	13 921	9 104	4 817	3.51
20	13 977	9 654	4 323	3.13
21	14 207	9 341	4 866	3.49
22	14 506	10 158	4 348	3.10
23	14 385	10 459	3 926	2.77
24	14 479	10 703	3 776	2.64
25	14 731	10 854	3 877	2.68

図3 出生・死亡・自然増加数の推移

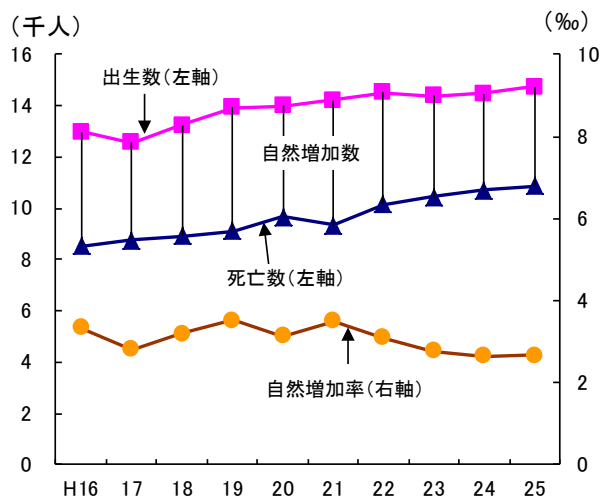


表7 自然動態

市区	平成24年			平成25年					
	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加数	前年比	出生数	前年比	死亡数	前年比
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	3 776 (2.64)	14 479 (10.11)	10 703 (7.47)	3 877 (2.68)	2.7	14 731 (10.20)	1.7	10 854 (7.51)	1.4
東区	867 (3.05)	3 041 (10.68)	2 174 (7.64)	766 (2.67)	△ 11.6	2 995 (10.45)	△ 1.5	2 229 (7.78)	2.5
博多区	786 (3.88)	2 293 (11.31)	1 507 (7.43)	785 (3.82)	△ 0.1	2 306 (11.22)	0.6	1 521 (7.40)	0.9
中央区	514 (3.02)	1 610 (9.44)	1 096 (6.43)	592 (3.42)	15.2	1 689 (9.76)	4.9	1 097 (6.34)	0.1
南区	568 (2.30)	2 456 (9.95)	1 888 (7.65)	493 (1.98)	△ 13.2	2 453 (9.86)	△ 0.1	1 960 (7.88)	3.8
城南区	58 (0.48)	1 012 (8.32)	954 (7.84)	215 (1.77)	270.7	1 169 (9.61)	15.5	954 (7.85)	0.0
早良区	474 (2.24)	2 089 (9.86)	1 615 (7.62)	442 (2.08)	△ 6.8	2 030 (9.56)	△ 2.8	1 588 (7.48)	△ 1.7
西区	509 (2.62)	1 978 (10.19)	1 469 (7.56)	584 (2.97)	14.7	2 089 (10.61)	5.6	1 505 (7.65)	2.5

注) ( )内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの自然増加数、出生数、死亡数。

数)は、転入者数が72,646人で転入率(人口1,000人当たりの転入者数)50.28%, 転出者数64,707人の転出率(同転出者数)44.79%, 両者の差である社会増加数は7,939人で、社会増加率(同社会増加数)は5.49%となっています。

平成24年と比較すると、転入者数は1,031人減少、転出者数は82人減少し、社会増加数は949人減少となりましたが、平成8年以降転入超過の状態が続いています。

行政区別に見ると、全ての区において転入超過となっており、転入者数が最も多いのは

博多区の15,288人で、次いで東区、中央区となっています。転出者数は博多区の12,986人が最も多く、以下、東区、中央区となっており、社会増加数は中央区の2,382人が最も多くなりました。(表8, 表9)

各区の人口動態の構成を見ると、都心部に位置する博多区と中央区は、社会増加数の割合が高いことが分かります。(図4)

福岡市の人口の詳細は【福岡市の統計情報ホームページ】をご覧ください。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/tokeichosa/shisei/toukei/index.html>

表8 転入・転出・社会増加数の推移

	転入者数	転出者数	社会増加	
			実数	率
	人	人	人	%
H16	76 348	71 489	4 859	3.63
17	76 455	69 968	6 487	4.81
18	78 190	70 537	7 653	5.62
19	77 277	71 363	5 914	4.31
20	74 425	69 378	5 047	3.65
21	72 862	67 795	5 067	3.63
22	70 727	65 528	5 199	3.70
23	74 252	63 513	10 739	7.57
24	73 677	64 789	8 888	6.20
25	72 646	64 707	7 939	5.49

図4 人口動態の構成

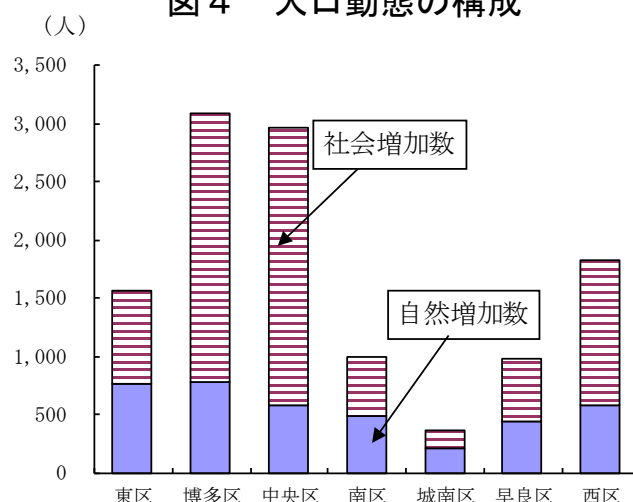


表9 社会動態

市区	平成24年			平成25年					
	社会増加数	転入者数	転出者数	社会増加数	前年比	転入者数	前年比	転出者数	前年比
	人, %	人, %	人, %	人, %	%	人, %	%	人, %	%
福岡市	8 888 (6.20)	73 677 (51.43)	64 789 (45.23)	7 939 (5.49)	△ 10.7	72 646 (50.28)	△ 1.4	64 707 (44.79)	△ 0.1
東区	843 (2.96)	13 179 (46.30)	12 336 (43.34)	804 (2.81)	△ 4.6	13 211 (46.10)	0.2	12 407 (43.29)	0.6
博多区	2 348 (11.58)	15 225 (75.07)	12 877 (63.49)	2 302 (11.20)	△ 2.0	15 288 (74.38)	0.4	12 986 (63.18)	0.8
中央区	2 362 (13.86)	12 611 (73.98)	10 249 (60.12)	2 382 (13.77)	0.8	12 499 (72.25)	△ 0.9	10 117 (58.48)	△ 1.3
南区	959 (3.88)	10 535 (42.67)	9 576 (38.79)	507 (2.04)	△ 47.1	10 199 (40.99)	△ 3.2	9 692 (38.95)	1.2
城南区	111 (0.91)	4 716 (38.78)	4 605 (37.87)	160 (1.32)	44.1	4 505 (37.05)	△ 4.5	4 345 (35.74)	△ 5.6
早良区	788 (3.72)	8 827 (41.65)	8 039 (37.93)	541 (2.55)	△ 31.3	8 444 (39.75)	△ 4.3	7 903 (37.21)	△ 1.7
西区	1 477 (7.61)	8 584 (44.20)	7 107 (36.60)	1 243 (6.31)	△ 15.8	8 500 (43.18)	△ 1.0	7 257 (36.87)	2.1

注) ( )内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの社会増加数、転入者数、転出者数。